

競技注意事項

1 規則 2023年(財団)日本陸上競技連盟競技規則並びに本競技会申し合わせ事項によって実施する。

2 変更・訂正

- ・競技者の変更は一切認めない。
- ・プログラム誤記の訂正は速やかに本部記録係へ申し出る。

3 練習

- ・練習は、補助競技場を使用する。
- ・競技場使用上の注意に従い、個別に行うこととする。ただし、投てき・跳躍の練習は役員
の指示に従って行うこと。なお、本部のアナウンスに注意し、その指示に従うこと。
- ・フィールド種目の公式練習は、競技場内で競技役員の指示により行うものとする。
- ・競技者以外の練習は認めない。
- ・投擲練習については、補助競技場において、メディシンボールのみ使用することができる。た
だし、役員
の指示に従い、指定された区画で危険のないように使用すること。ゴム製を含む円
盤を投げる練習は禁止する。

4 競技用靴 2023年度日本陸上競技連盟競技規則 (TR5: シューズ) を適用する。

種目	ソールの最大厚さ
トラック種目 (800m未満の種目、ハードル種目を含む)	20mm
トラック種目 (800m以上の種目)	25mm
フィールド競技の専用シューズは、適用除外とする。	

5 招集

- ・招集所は、100mスタート付近に設ける。
- ・競技順序記載の一次招集時間に、招集所で本人がコール用紙に自分で○をつける。(一次招集)
このとき、腰ナンバー標識を受け取る。
※招集所には、本人のみ行く。付き添いの同行は認めない。
- ・一次招集終了後、競技順序記載の最終コール時刻に、各種目の最終コール場所で最終確認を受
ける。(最終コール)。
- ・招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を欠場するとみなし、出場を認めない。
- ・代理人による招集は認めない。

6 用具

- ・競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。
ただし、砲丸、円盤について検査を受け承認されたものに限りに、個人所有の物が使用できる。
検査は、各種目競技開始1時間前までに用器具倉庫にて行う。

7 アスリートビブス

- ・アスリートビブス (横浜市陸協指定) は、2枚をユニフォームの胸と背に結着すること。
ただし、跳躍種目の競技者は1枚を胸または背に結着するだけでよい。
- ・本競技会申込時にアスリートビブスを購入依頼した者は、本部まで取りに来ること。
- ・腰ナンバー標識は、すべてのトラック種目で使用する。腰ナンバー標識は右腰に結着し、競技
終了後は各自持ち帰ること。
- ・競技者は、各自で安全ピンを必要な数だけ用意すること。
- ・すでに発行されている競技者が当日忘れた場合は、一人300円で再発行する。自作のものは
認めない。

8 計測

- ・トラック種目は、全ての競技者のタイムを計測する。ただし、競技運営上、著しく遅れた競技
者に対して競技を中止させる場合がある。
- ・フィールド競技の計測ライン及びバーの上げ方は、各審判主任の指示によるものとする。

9 スタート

- ・スタートの合図はイングリッシュコマンドで行い、1回目の不正スタートで失格とする。
- ・スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告 (イエローカード) が与えられる。
- ・同一レースのイエローカード2枚で当該レースの失格 (レッドカード) とする。
- ・800m、3000mについては2段スタートで行う。

- 10 欠場 ・欠場する者は、招集完了時刻までに競技者係に申し出ること。
- 11 助力 ・競技場内での助力行為は禁止とする。
 ・スタンドからの助言については競技場運営並びに他の競技者の競技を妨げない範囲で認めるものとする（コーチングエリアに常駐はできない）。
 ・文書をもって連絡することや、当該競技場所を勝手に離れることはできない。また、ビデオ・ラジオ・CD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことはできない。
 ・競技者同士の助言はできない。
- 12 全般に渡る注意点 ・招集後は荷物を45Lのビニール袋に入れて所定の場所に置く。ビニール袋には学校番号を書くこと。
- 13 その他 ・参加校の顧問は競技役員または補助役員として競技運営にご協力ください。8:00までに学校受付および役員受付を済ませてください。競技役員の任務時間は競技終了までとします。
 ・競技場の利用のしかたについては、「三ツ沢競技場使用上の注意・お願い」を参照する。
 ・記録は、当日の掲示はしない。（記録掲載サイトのQRコードを本部に掲示するので、顧問が確認して選手に伝える。）
 後日、横浜市陸上競技協会のHPに記載する。（<http://hamariku.jp>）。

14 会場図

